

《専門教育科目 専門基礎科目》

科目名	教育の方法・技術				
担当者氏名	若杉 祥太				
授業方法	講義	単位・必選	2・選択必修	開講年次・開講期	2年・春期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○ 専門基礎-1 国際社会に貢献できる人材育成 ○ 専門基礎-2 豊かな人間性の醸成 ○ 専門基礎-3 コミュニケーション能力の向上 ○ 専門基礎-4 発達の深い理解 ◎ 専門基礎-5 指導・保育の専門性				

《授業の概要》

教育方法・技術の概論として位置付け、教育方法・技術の歴史的展開、目標論、内容構成論、授業論、評価論、現代の課題などについて、学習指導要領などにも言及しながら、基本的原理を概観し、実践上の諸課題を実践を踏まえ探求する。

《テキスト》

林徳治・藤本光司・若杉祥太、アクティブ・ラーニングに導く  
 教学改善のすすめ、2020年、ぎょうせい  
 ※授業内で説明・指示します。

《参考図書》

特になし  
 ※配布資料あり

《授業の到達目標》

① 日本の学校教育の変遷、概要を学び、それらの意義・目標を説明できる。② 教育の目標を踏まえ、関係するのカリキュラムならびに授業を構想できる。③ 教育の目標に即した指導方略、指導方法（スキル）、学習評価を説明できる。④ ICTやLMSを活用した授業方法や環境構築方法を説明できる。⑤ 学校現場における教育の情報化を説明できる。

《授業時間外学習》

次回授業で学習する教科書の当該ページおよび資料等を指示しますので、事前に読んで上で、授業に参加してください。

《成績評価の方法》

授業理解のための小レポート（50%）  
 課題解決型レポート（50%）  
 をもとに総合的に評価する

《備考（教員経験の有無）》

本科目は中学校・高等学校の教員経験に基づき構成していません。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	オリエンテーション	授業の到達目標と進め方・成績評価方法の説明、教育の方法・技術の概要
2	教授学習理論（1）	学校教育と教育の方法・技術の歴史
3	教授学習理論（2）	情報教育のための行動主義に基づく諸学習理論と実践例
4	教授学習理論（3）	情報教育のための構成主義に基づく諸学習理論と実践例
5	教育評価（1）	学校教育のための教育評価理論
6	教育評価（2）	学校教育のための教育評価実践（情報通信技術の活用）
7	教育の情報化	校務の情報化、ICT活用教育、他教科での情報教育（情報通信技術の活用）
8	情報教育	情報教育に関する内容と指導方法
9	プログラミング教育	プログラミング教育に関する内容と指導方法
10	データサイエンス教育	データサイエンス教育に関する内容と指導方法
11	指導方法と授業設計（1）	行動主義に基づく授業設計と指導方法
12	指導方法と授業設計（2）	構成主義に基づく授業設計と指導方法
13	新しい教育方法と授業技術（1）	主体的・対話的で深い学習のための方法と技術、インストラクショナルデザイン
14	新しい教育方法と授業技術（2）	-Learning, LMS, タブレット端末活用、教育クラウド、教育データ活用
15	学習の振り返りと今後の展望	情報教育に関する全体総括、今後の情報教育の展望